

デジタル金融の世界を切り拓く

CAICA DIGITAL REPORT 2021

[2020年11月1日 — 2021年10月31日]



CAICA DIGITAL 理念

CAICA DIGITALは、社員一人ひとりの個性を尊重し、
技術・経験等あらゆる英知を結集して、
お客様に満足度の高いサービスを提供することにより、
人々の豊かな生活の実現に貢献します。

CAICA DIGITAL 行動指針

1. 私たちは、新しい価値創造と革新にチャレンジします。—— 価値創造、革新、挑戦
2. 私たちは、プロフェッショナルとして喜ばれる仕事を追求します。—— プロフェッショナル、顧客志向
3. 私たちは、チームワークを大切にし、一丸となって取り組みます。—— チームワーク、協働
4. 私たちは、仕事を通じて自己実現を目指します。—— 自己実現
5. 私たちが、自ら会社を創り上げます。—— 主体性

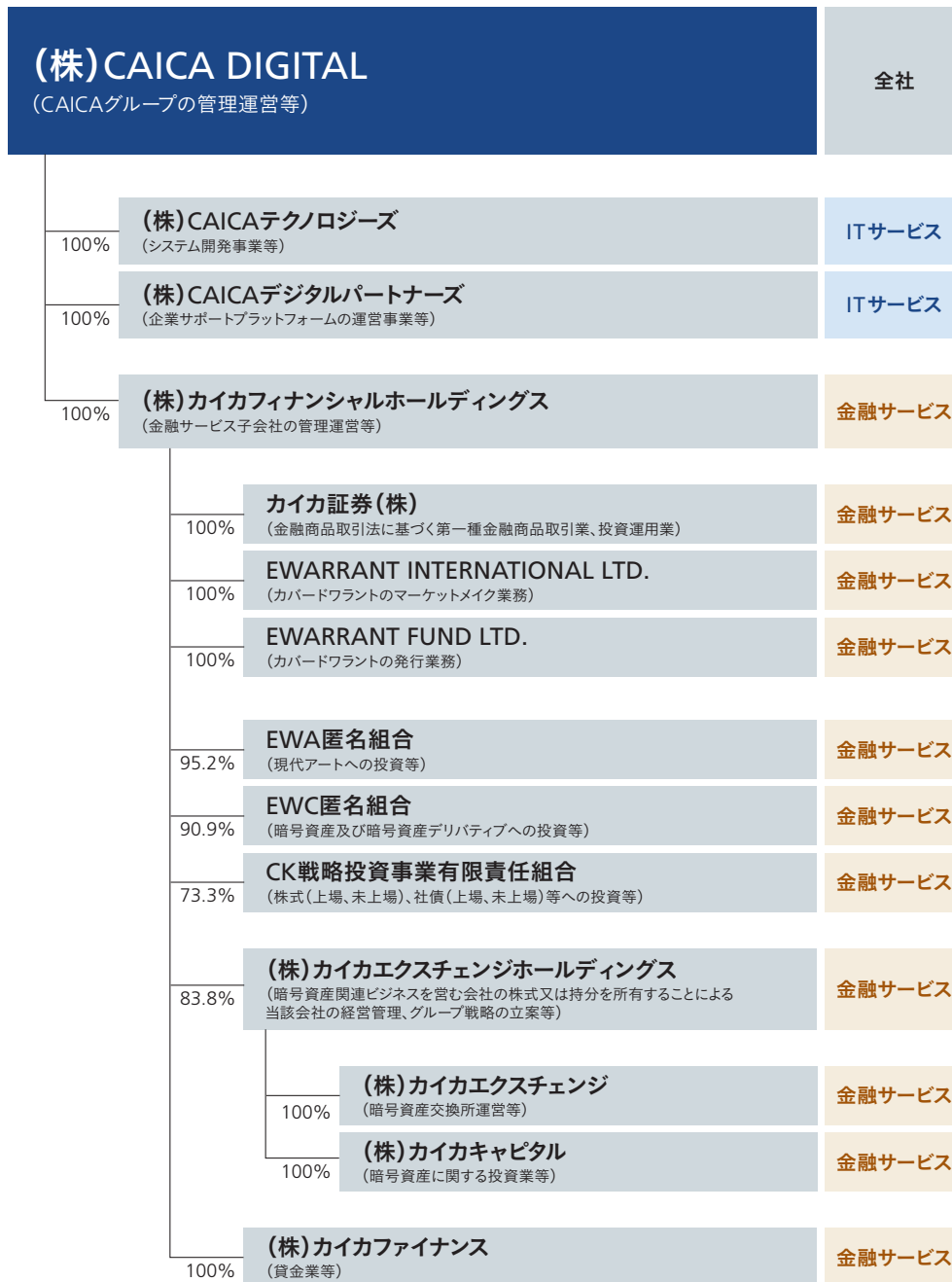
目次

CAICAグループ組織図	1	OUR GOVERNANCE	
沿革	2	役員一覧	14
OUR BUSINESS		コーポレート・ガバナンス	16
経営方針および注力分野	3		
CAICAテクノロジーズ	4	FINANCIAL & CORPORATE DATA	17
カイカ証券	6	財務諸表	18
カイカエクスチェンジホールディングス/ カイカエクスチェンジ/カイカキャピタル	8	会社概要	26
CEOメッセージ	11	株式情報	27

CAICAグループ組織図

2022年4月30日現在

セグメント



沿革

2022年4月30日現在

グループ再編の流れ

2021 12月 子会社の株式会社カイカフィナンシャルホールディングスを通じて株式会社フィスコ・キャピタルの全株式を取得し、連結子会社化、商号を株式会社カイカファイナンスに変更

株式会社CAICA DIGITAL

11月1日、株式会社CAICAより商号変更

株式会社 カイカフィナンシャルホールディングス

11月、会社分割により金融サービス事業を統括する中間持株会社として設立

CAICA(カイカ) ブランドへの統一

- ・11月 子会社のeワラント証券株式会社をカイカ証券株式会社に商号変更
- ・11月 子会社の株式会社Zaif Holdingsを株式会社カイカエクスチェンジホールディングスに商号変更
- ・11月 子会社の株式会社Zaifを株式会社カイカエクスチェンジに商号変更
- ・11月 子会社の株式会社Zaif Capitalを株式会社カイカキャピタルに商号変更

株式会社 Zaif Holdings

8月、51%以上の保有を目的とし株式交付によりZaif Holdings株式を追加取得

株式会社 Zaif Holdings

3月、Zaif Holdings株式を40.7%保有し実質支配力基準により連結子会社化。これに伴いZaif Holdingsの子会社である株式会社Zaifおよび株式会社 Zaif Capitalも当社の連結子会社化

3月 持分法適用関連会社である株式会社ネクスの全株式を譲渡

2月 株式会社フィスコとの資本業務提携を強化

2月 株式(上場、未上場)、社債(上場、未上場)等への投資を行うCK戦略投資事業有限責任組合を設立

2020 12月 当社子会社であるeワラント証券株式会社とともに、暗号資産および暗号資産デリバティブへの投資を行うEWC匿名組合の運営する「暗号資産ファンド」、現代アートへの投資を行うEWA匿名組合の運営する「アートファンド」へ出資し子会社化
11月 企業サポートプラットフォームの運営事業等を担う株式会社CAICAデジタルパートナーズを設立

IT金融企業の 更なる深化へ

株式会社CAICA

3月1日「株式会社カイカ」が持株会社制へ移行、「株式会社CAICA」に商号変更

3月1日 「株式会社カイカ」が会社分割(吸収分割)により、情報システム事業を
株式会社CAICAテクノロジーズ に承継

2019 IT金融企業へ変革

金融事業に参画

- ・eワラント証券株式会社
- ・EWARRANT INTERNATIONAL LTD.
- ・EWARRANT FUND LTD.

eワラントグループを子会社化

- ・株式会社フィスコデジタルアセットグループ
(現 株式会社Zaif Holdings)

株式会社フィスコデジタルアセットグループ
(現 株式会社Zaif Holdings)を持分法適用関連会社化

株式会社 カイカ

2月1日 「株式会社SJ」⇒「株式会社カイカ」に商号変更

2016 フィンテック戦略を掲げ、ブロックチェーンや暗号資産に注力

株式会社 SJ

国内会社を統合し、商号を「株式会社 SJ」に変更

株式会社SJアルピーヌ(SJA)

2005 株式会社ティー・シー・シーと株式会社アイビートの営業全てを承継する新会社「株式会社SJアルピーヌ」を設立

株式会社SJ ホールディングス(SJH)

株式会社 サン・ジャパン(SJ)

株式会社SJHから営業
権継承し新会社設立

2004 株式会社サン・ジャパンと経営統合

2003 2003年3月4日 日本証券業協会に株式を店頭登録

株式会社アイビート(IBet)

株式会社サン・ジャパン(SJ)

東京都文京区に設立

1977 株式会社ジャパン
システムクリエ
ーション(JSC)

1969

株式会社ティー・ シー・シー(TCC)

神奈川県横浜市の設立

株式会社ソフトウェア マネジメント(SMC)

東京都新宿区に設立

経営方針および注力分野

経営方針

50年以上にわたる金融機関向けシステム開発の知見を基に2016年よりフィンテック戦略を掲げ、ブロックチェーンや暗号資産分野に注力してまいりました。

さらに第一種金融商品取引業者であるカイカ証券株式会社の子会社化、暗号資産交換所を傘下に持つ株式会社カイカエクスチェンジホールディングスの子会社化など、証券や暗号資産分野への進出を果たしております。

あらゆる事がデジタル化される未来。中央集権型から分散型（DeFi）へ、業界構造そのものが大きく変革していく金融。株式会社CAICA DIGITALはその変革者になります。

注力分野



デジタル決済が増加

金融システムの高度化

コロナでさらに加速する
「デジタル通貨」へのシフト

暗号資産による新たな金融商品
（暗号資産建投資商品、
決済手段、
資金調達手段等）

新しい金融としての
「暗号資産」

注力分野

デジタル通貨
暗号資産金融商品
サイバーセキュリティ



CAICA Technologies Inc.

株式会社

CAICA テクノロジーズ

<https://www.caica-technologies.co.jp/>

会社概要

名称	株式会社CAICAテクノロジーズ (CAICA Technologies Inc.)
代表者	代表取締役社長 鈴木 伸
設立	2019年10月7日(商号変更 2020年3月1日)
本社所在地	東京都港区南青山五丁目11番9号(レキシントン青山3階)
資本金	301百万円(2021年10月31日現在)
事業内容	情報サービス事業(システム開発、コンサルティング等 暗号資産、ブロックチェーンに関するシステムの 研究、開発、販売及びコンサルティング等)
主要株主	株式会社CAICA DIGITAL 100%
加盟団体	一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)
取得認証	《ISO9001》 認証機関:一般財団法人日本品質保証機構(JQA) 認証番号:JQA-QM5414 適合規格:ISO 9001:2015 (JIS Q 9001:2015) 登録範囲:デジタルイノベーション事業部、プロフェッショナルサービス事業部、 ビジネスソリューション&テクノロジー事業部、フィンテック戦略室 認証取得:2000.10.20 有効期限:2022.10.07 《プライバシーマーク》 審査機関:一般社団法人情報サービス産業協会(JISA) 登録番号:11820509(08) 有効期限:2022.10.15
派遣事業	労働者派遣事業 許可番号:派13-314626

主要取引先

アクセンチュア株式会社	株式会社NTTデータフロンティア	東京海上日動
イーデザイン損害保険株式会社	NTTテクノクロス株式会社	リスクコンサルティング株式会社
グイェムウェア株式会社	株式会社NTTドコモ	株式会社東邦システムサイエンス
株式会社エクサ	株式会社NTTロジスコ	日新火災海上保険株式会社
エクシオグループ株式会社	株式会社オーグス総研	日本アイ・ビー・エム株式会社
SMBCコンシューマーファイナンス株式会社	株式会社OKIソフトウェア	日本電気株式会社
NTTコミュニケーションズ株式会社	株式会社カイカエクスチェンジ	株式会社日立製作所
NTTコムウェア株式会社	コベルコシステム株式会社	株式会社日立ソリューションズ
株式会社NTTデータ	JBCC株式会社	富士通株式会社
NTTデータシステム技術株式会社	SOMPOシステムズ株式会社	富士通Japan株式会社
NTTデータソフィア株式会社	株式会社地銀ITソリューション	三菱総研DCS株式会社
株式会社NTTデータ東北	株式会社DTS	楽天グループ株式会社
株式会社NTTデータ・フィナンシャルコア	株式会社電通国際情報サービス	楽天ペイメント株式会社
NTTデータフォース株式会社	東京海上日動火災保険株式会社	
	東京海上日動システムズ株式会社	(敬称略 五十音順)

あらゆることがデジタル化される未来、プロフェッショナル集団 CAICAテクノロジーズが最先端技術で実現します。

私たちは、1989年7月14日の設立以来、「高い技術力と高品質なサービスを発揮するIT企業」として、着実に歩みを進めてまいりました。そして「金融(Fin)とIT(Tech)が高度に統合した圧倒的に強い“真のFinTech企業”」を経営ビジョンと位置付け、お客様とともに更なる成長を実現していく所存です。

成長の源泉は、豊富な経験と確実な技術に裏打ちされたシステム開発力、時代の潮流をいち早く捉え新しい技術を積極的に取り入れた「付加価値の高いサービスを創造し提供し続けること」にあります。

この数年は仮想通貨(暗号資産)関連事業に注力することで、当分野において複数の企業/ユーザーに対してプラットフォームを創造/提供する金融サービスプラットフォーマーとしての立場をいち早く確立できたと自負しております。またこれからは「デジタル変革(DX)」を成長領域と捉え、堅牢なイノベーションの実現に積極的な貢献をしてまいります。

今後の動向にご期待ください。

株式会社CAICAテクノロジーズ 代表取締役副社長 鈴木 偉真



ITサービス事業

ブロックチェーン

ブロックチェーンを活用した新規ビジネス提案、PoC実施支援、システム開発支援等、ブロックチェーンに関するあらゆることに対応しています。

NFTプラットフォーム

今後ますます利用が拡大していくNFT(Non Fungible Token=代替不可能なトークン)の発行・流通が実現可能なプラットフォームを提供します。

Gu-Gu

「ありがとう」や「いいね!!」の気持ちをブロックチェーンでトークン化し、非対面で手軽にコミュニケーションを図れる企業価値向上ソリューションです。

暗号資産取引所システム

大手取引所での開発・運用実績。暗号資産取引に求められる高度なセキュリティ要件を満たすシステムを提供します。

テレワーク・クイックスタート

安全・安心なテレワーク環境を、簡単なヒアリングから最短3日でご提供可能。貴社の働き方改革を、「テレワーク・クイックスタート」が実現します。

セキュリティ診断サービス

常に高度なセキュリティ要件に対応してきた実績を基に、最適なセキュリティソリューションを提供します。

システムインテグレーション事業

金融

金融業界においては、銀行、生保、損保、証券等、多岐にわたる豊富な実績があり、システム観点はもちろん、弊社コンサルタント/SEがお客様目線で提案し、デザイン思考でお客様の業務最適化を図ります。

ポイント・決済

ポイント・決済領域においては、FinTechの最前線に立ち、お客様のデジタルマーケティング、キャッシュレス戦略を支援します。

公共・官公庁

公共・官公庁領域においては、電力、ガス関係や官公庁関連の業務管理システム、または各種申請システムの実績が豊富で、お客様のニーズに対して、高品質なシステム開発を提供します。

EC・通販

EC通販業界においては、受発注、在庫管理、商品情報登録・管理、販売、配送、会計管理システムを中心とした豊富なシステム開発実績があります。また、O2OやBI・DWHマーケティング、決済系やアプリ開発などの新しい取り組みや、各種周辺システムの開発実績があり、ユーザー目線の導線設計で快適な通販業務をサポートします。

オフショア

日本と中国が各開発工程においてそれぞれの強みを活かした最適な分業システムを実現することで、トータルコストの優位性を確保すると同時に、高い技術力と高品質なサービスを提供します。

CAICA Securities Inc.

カイカ証券 株式会社

<https://www.caica-sec.com>

会社概要

名称	カイカ証券株式会社 (CAICA Securities Inc.)
代表者	代表取締役 畑 善隆
設立	2009年9月28日
本社所在地	東京都港区南青山五丁目11番9号(レキシントン青山3階)
金融商品取引業者登録番号	関東財務局長(金商)第2526号
資本金	100百万円(2021年10月31日現在)
事業内容	金融商品取引法に基づく第1種金融商品取引業、投資運用業
主要株主	株式会社カイカフィナンシャルホールディングス 100%
加入協会	日本証券業協会、一般社団法人 日本暗号資産取引業協会
加入投資者保護基金	日本投資者保護基金

▶ 口座開設はこちらから

<https://signup.ewarrant-direct.com/>

「暗号資産トラッカー※」がわかりやすくリニューアル!

「暗号資産トラッカー」を含むeワラントデモトレードは
メールアドレスさえあれば、どなたでもご利用が可能で、利用料は無料です。

※暗号資産トラッカーとは、ビットコイン先物インデックストラッカー、
イーサリアム先物インデックストラッカーを指します。



「投資をもっとお手軽に、もっと面白く」これは商品開発において私たちが大切にしているフィロソフィーです。

2011年から10年間にわたり「オプションを証券化した金融商品」と言われるカバードワラントを主力事業として展開してきたのも、私たちがこの言葉を大切にしているからこそです。2021年は「ビットコインレバレッジトラッカー」「暗号資産先物インデックストラッカー」といった暗号資産に特化したユニークな商品のリリースも行いました。

CAICA(カイカ)グループには、金融業界向けにシステム開発を行ってきた株式会社CAICAテクノロジーズや、暗号資産取引所「Zaif」を運営する株式会社カイカエクスチェンジがあり、ネット証券会社である私たちとシナジーを発揮して、暗号資産に関連した金融商品を開発・運営・販売まで一気通貫で行うことのできる基盤があります。

暗号資産は知名度こそ上がってきているとはいえ、日本ではまだまだ投機的な商品として一部の暗号資産ファンが投資対象としているにすぎません。私たちは当期を「日本初の暗号資産を絡めた金融派生商品の創出」をミッションとして、プロダクトアウトのポジションからマーケットに積極的に問いかけていくチャレンジの一年と位置付けています。

金融に携わるものとして、暗号資産投資の可能性を広げる役割を果たすため、今後も魅力的で手軽に投資できるキャッチーな商品を開発してまいります。そして、いつの日か訪れる暗号資産が日常の決済で使われるような世界の実現に貢献してまいりたいと思います。

カイカ証券株式会社 代表取締役 畑 善隆



取り扱い商品

eワラント

ビットコイン、イーサリアムも。
1万円以下から始められる
お手軽投資！

eワラントは、1万円以下から気軽に始めることができるオプションを内包した金融商品、「カバードワラント」という種類の有価証券です。対象となる原資産は、個別株、株式指数、為替、コモディティ、暗号資産等と多様であり、上下の値動きや値動き自体を予想して取引を行います。また、元手の何倍、何十倍にもなることがあります。投資した金額を超える損失は発生しません。その他、オプション性を活かし、リスクヘッジ手段として活用することも可能です。



特徴

- いろいろな相場に小額から投資できる
- 取引時間は9:00~23:50まで
- 対象の相場より値動きが大きい

暗号資産 CFD

24時間、365日、
MT5で自動売買！

暗号資産CFDでは、暗号資産（仮想通貨）を対象とした上下の値動きを予想して取引を行います。CFDは日本語に訳すと「差金決済取引」といい、少ない資金を元手に大きな金額の取引を可能にする仕組み（レバレッジ）の他、現物取引と異なり、相場の下落を予想し、売りから注文をすることが可能です。また、当社ではMetaQuotes Software Corp.社のMetaTrader 5(MT5)を取引ツールに採用しており、自動売買プログラム等の高機能な取引が可能です。



特徴

- 取引手数料無料 ● 売りから注文可能
- レバレッジ10倍 ● 取引ツールはMT5を採用
- ほぼ24時間取引可能
- 信託保全

株式会社 **カイカ** エクスチェンジ
ホールディングス

<https://caica-exchange-holdings.jp/>

会社概要

名称	株式会社 カイカエクスチェンジホールディングス (CAICA Exchange Holdings Inc.)
代表者	代表取締役社長 鈴木 伸
設立	2017年10月4日
本社所在地	大阪府堺市南区竹城台三丁目21番1号
資本金	50百万円
事業内容	暗号資産関連ビジネスを営む会社の株式又は持分を所有することによる 当該会社の経営管理、グループ戦略の立案等
主要株主	株式会社CAICA DIGITAL 100%

株式会社 **カイカエクスチェンジ**

<https://zaif.jp/>

会社概要

名称	株式会社 カイカエクスチェンジ(CAICA Exchange Inc.)
代表者	代表取締役社長 鈴木 伸
設立	2016年4月12日
本店所在地	大阪府岸和田市荒木町二丁目18番15号
資本金	300百万円
事業内容	暗号資産交換業・金融商品取引業
主要株主	株式会社 カイカエクスチェンジホールディングス 100%
加入協会	一般社団法人 日本暗号資産取引業協会
登録番号	近畿財務局長 第00001号(暗号資産交換業) 近畿財務局長(金商) 第422号(第一種金融商品取引業)

株式会社 **カイカキャピタル**

会社概要

名称	株式会社 カイカキャピタル(CAICA Capital Inc.)
代表者	代表取締役 松崎 祐之
設立	2014年9月1日
本店所在地	東京都港区南青山五丁目4番30号
資本金	50万円
事業内容	暗号資産に関する投資業等
主要株主	株式会社カイカエクスチェンジホールディングス 100%

「暗号資産取引はZaifで」 お客様の様々なニーズに対応する商品、サービスを提供します。

カイカエクスチェンジが運営している暗号資産交換所「Zaif」は、お客様の様々な投資ニーズに対応する商品・サービスを提供しています。

「かんたん売買」は、暗号資産を即座に購入/売却したいお客様に多くご利用いただいています。月額1,000円から始められ、毎日一定額を自動購入する「Zaifコイン積立」は、暗号資産に長期的に投資したいお客様から好評をいただいています。また、2022年3月にコスプレトーン（COT）の取り扱いを国内で初めて開始しましたが、取り扱いコインが多いこともZaifの特徴です。なかでもCAICA DIGITALが発行したカイカコイン（CICC）は、発行体が上場企業という希少なコインであり、Zaifにおける基軸コインとして、サービス拡充を目指しています。

2022年10月期においては、UI/UXを刷新した次期システムの稼働を予定しています。より魅力的なZaifとして、事業拡大を積極的に進めていきます。

株式会社カイカエクスチェンジ 代表取締役社長 鈴木 伸



Zaif 主なサービス

かんたん売買（販売所）

簡単にビットコイン、XEMなどを売買できます。初心者の方や、すぐに売買したい人向けのサービスです。



Orderbook trading

ユーザー間でビットコイン、XEMなどのお取引が行えます。変動に応じた注文を出すことで利益を上げられます。トレーダー向けのサービスです。

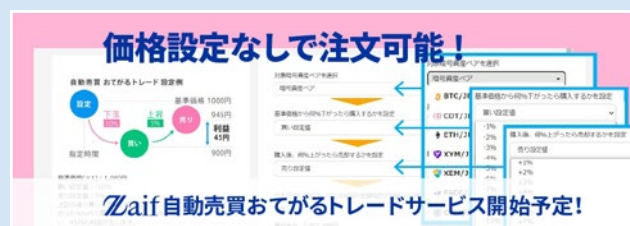
Zaif自動売買おてがるトレード

事前に設定した値（パーセント）を基に、基準価格※より設定したパーセント以下に価格が下落したら購入し、購入価格より設定したパーセント以上に価格が上昇したら売却を自動で繰り返すサービスです。設定後は自動で売買を繰り返すため、暗号資産トレードに時間をかけられない方にもおすすめです。

※基準価格…お客様が設定された条件ごとに当社のシステムが基準時間を決定し、基準時間の直前のOrderbook tradingでの取引価格を指します。基準価格は24時間ごとに更新されます。

以下4つの項目を設定すると、暗号資産トレードを開始することができます。

1. 売買する暗号資産を選択
2. 購入条件を設定
(基準価格より何%下がったら購入するかを設定)
3. 売却条件を設定
(購入価格より何%上がったたら売却するかを設定)
4. 購入金額を設定



Zaifコイン積立

Zaifコイン積立とは、日本円で設定した金額を毎月(1日)に自動引き落とし、暗号資産を自動で購入できるサービスです。お客様ご自身で設定した金額を日割りで分割し、毎日自動購入するため、購入するタイミングを考える必要がなく、初心者の方でも始めやすいのが特徴です。

クリプトOTCデスク

暗号資産交換所「Zaif」を運営する当社子会社の株式会社カイカエクスチェンジは、大口の取引需要に対応するため「クリプトOTCデスク」として、専用の問合せ窓口を設置いたしました。



5,000万円相当額以上のお取引なら

- <概要> ご利用対象 ▶ 法人のお客様 (Zaifへの口座開設が必要です)
- 対象暗号資産 ▶ カイカコイン(CICC)、
 フィスココイン(FSCC)、
 ネクスコイン(NCXC)
- 金額 ▶ 概ね 5,000万円相当額以上

サービスの詳細は以下の紹介ページをご覧ください。

https://zaif.jp/crypto_otc_desk

カイカコインプロジェクト

カイカコイン(CICC)プロジェクトとは、CICCの可能性を追求し、Zaifの取引所コイン(Zaifのサービスで利用できるコインのこと)としてCICCを基軸としたサービスを拡充していくことを目指しています。具体的にはCICCをZaifの各種サービスの **ユーティリティトークン** に位置付け、その流通の促進、保有者の拡大を進め、**CICC建ての暗号資産取引** などのCICCを利用したサービスや、分散型金融サービスとして **レンディング** などのサービスを検討し、CICCを活用するメリットを拡充していくプロジェクトです。



- 目的 ▶ CICCのサービスの拡充、保有者の拡大、流通の促進
- 戦略 ▶ **サービスの拡充** Zaifのユーティリティトークン化
- ▶ **保有者の拡大** グループを挙げてのPR活動、エアドロップなど
- ▶ **流通の促進** 分散型サービスへの将来的な展開など

コスプレトークン(COT)

コスプレトークン(COT)の取り扱い開始

コスプレトークン(COT)とは、株式会社キュアが運営する世界最大級のコスプレプラットフォーム「World Cosplay」内で使用できる暗号資産です。

世界中のクリエイター(コスプレイヤー、コスチュームを活用したアーティスト)へ**ファンがCOTで応援**することが可能です。また、コスプレイヤー/ユーザーが所持しているCOTを**サービスの決済や独自トークンに交換**できる仕組みが予定されており、これによって発行された独自トークンをコスプレイヤー自身の**ブランディングに活用**できるという用途もあります。



Zaif

無料 会員登録はこちら

https://zaif.jp/verify_email

暗号資産事業の収益化に向けた
具体的な戦略アイテムは揃っており、
今後の成長戦略の遂行に向けて、
全力を尽くします。



CEO代表取締役社長
鈴木 伸

2021年10月期を振り返って

2021年10月期、当社は金融業向けを主としたシステム開発や暗号資産に関するシステム開発等を行うITサービス事業と、金融商品取引法に基づく第一種金融商品取引事業や暗号資産に関する金融商品開発等を行う金融サービス事業にセグメントを変更しました。当期は、新型コロナウイルスの変異株出現による感染再拡大の影響により、厳しい状況が続きました。その後も、経済活動は段階的に引き上げられつつありますが、依然として先行きは不透明な状況です。私たちが事業を展開するITサービス業界および金融サービス業界は、このコロナ禍を契機にデジタル化の進展が加速し、国内外を問わず企業の業務形態が大きく変わることになると認識しています。

こうした状況の下、連結売上高は5,946百万円(前期比0.9%減)となりました。これは、CAICAテクノロジーズのシステム開発において新規案件の需要が復調傾向にあったことに加え、既存の継続案件が引き続き堅調に推移した一方、カイカ証券の売上高が、暗号資産を原資産とした新商品が好評を得たものの、主力商品であったカバードワラント(eワラント)の販売が想定を下回り、低調に推移したことによるものです。この結果、利益面では、グループ全体で販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、営業損失は915百万円(前期は営業損失679百万円)、経常損失は929百万円(前期は経常損失903百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失は799百万円(前期

は557百万円の損失)となりました。

セグメント別では、ITサービス事業は、マーケットが堅調に推移し、お客様のDX推進も着実に進んでおり、積極的に営業リソースを投下することで引き続き案件の獲得を図りました。また、金融機関向けシステム開発は、大型の案件は少ないものの概ね堅調に推移し、とりわけ保険分野は一次請けの案件を中心に安定的に伸長しました。一方で、金融サービスでは、先に述べたようにカイカ証券の主力商品であったカバードワラントの販売が低迷しました。ただし、暗号資産関連商品に注力する戦略ステップは確実に進んでおり、今後、早急な黒字化を目指していきます。

結果として決算数値は不本意なものとなりましたが、一方で大きな進展もありました。2021年3月、当社は暗号資産事業を運営するZaifホールディングス(現 カイカエクスチェンジホールディングス)を連結子会社化しました。従来から資本関係を強めてきましたが、これにより、今後、CAICA DIGITALとしての暗号資産戦略のスピーディーな展開が可能になっていきます。現在、Zaifの事業はまだ利益を生み出すには至っていませんが、今後、さらに投資を強化し、資本効率の向上に努めていきます。さらに、カイカ証券も暗号資産事業を強化、集中することで、グループ一体となった成長を図ります。暗号資産市場は、国内・海外ともに規制はあるものの、マーケットとしての将来性は有望であると確信しています。

次なる成長機会の獲得に向けて、暗号資産事業の収益化を目指す

今後、Zaifにおける暗号資産事業においては、ストック収益およびフロー収益の獲得のため、ストック・フロー両面での取り組みを推進していきます。ストック収益では、2022年3月、暗号資産交換所Zaif

を運営するカイカエクスチェンジが「Zaifコイン積立」をリリースしました。「Zaifコイン積立」は、日本円で設定した金額を、毎月、自動で引き落とし、毎日分割して暗号資産を自動購入できるサービスです。

これまでの積立対象暗号資産、ビットコイン(BTC)、ネム(XEM)に加え、イーサリアム(ETH)、シンボル(XYM)、フィスココイン(FSCC)、カイカコイン(CICC)、ネクスコイン(NCXC)が追加され7つの暗号資産の積立が可能となります。また、「自動売買おてがるトレード」も提供を開始します。事前に設定した値(パーセント)を基に、基準価格より設定したパーセント以下に価格が下落したら購入し、購入価格より設定したパーセント以上に価格が上昇したら売却を自動で繰り返し行うサービスです。設定後は自動で売買を繰り返し行うため、暗号資産トレードに時間をかけられない方にもおすすめです。Zaifでは、他の暗号資産交換所では取り扱っていない暗号資

産を含む豊富な銘柄を取り扱っています。なかでも、フロービジネスとしては、2022年3月、コスプレトークンの取り扱いを開始、所期の収益獲得に貢献しました。コスプレトークンは、世界中のコスプレ経済圏の発展を目的に発行されている暗号資産で、当社はこのプラットフォームに参加することで、ユーザーの新規獲得や、取り込みにもつなげていく考えです。今後も、新たな暗号資産の発行ニーズは拡大すると想定されます。カイカエクステジでは、しっかりトークン設計がなされ、ユーザーのコミュニティが存在することを主な選定基準に、Zaifにおける暗号資産の新規取り扱いを推進していく考えです。

暗号資産を中核としたマーケットの創造に挑戦

今後、当社は在りたい姿として、暗号資産事業の収益化を実現し、より大きな経済圏の構築の実現に取り組みます。収益化を実現することによって、さらなる普及拡大に向けて、暗号資産を中核としたマーケットの創造に挑戦します。例えば、2021年3月にリリースしたNFTプラットフォームは暗号資産との親和性が高く、まさしくインターネット上の仮想空間「メタバース」における、より大きな経済の世界を創造するものです。NFTとはブロックチェーン基盤上で発行される代替不可能なトークンを指し、デジタルデータでありながらコピー・複製することができないという特徴を有しています。例えばデジタルアートの所有権をトークンに定義することで、プラットフォーム内の流通や、所有権移転も可能にします。このように様々なアイテムをNFT化することで新たな価値共有の形態を実現し、また、その価値交換市場を提供することが可能となります。さらに、カイカコインについても、2022年10月期第3四半期から、価値向上施策を順次実行していく計画です。

当社はZaifを中核として、カイカ証券、カイカキャピタルが一体となって、暗号資産事業の拡大・成長に取り組みます。暗号資産商品に特化するカイカ証券に加え、カイカキャピタルも暗号資産による投資運用及び資金活用を視野に入れた事業を推進し、金融暗号資産による新たな金融サービスの高度化に対応していきます。また、Zaifでは現在、UI(ユーザーインターフェース)/UX(ユーザーエクスペリエンス)のリニューアルや、大量注文を処理する性能の向上、操作しやすいインターフェースなど、次世代システムへの移行を進めており、2022年10月期第4四半期より、順次、サービスを開始する予定です。これにより、暗号資産の流動性を高め、お客様のメリットもさらに拡大させていく計画です。

このように、暗号資産の収益化に向けた具体的な戦略アイテムは揃っており、私たちは今後の成長戦略の遂行に向けて、全力を尽くす決意です。今後とも、株主の皆様の変わらぬご理解、ご支援をお願いいたします。

役員一覧 (2022年1月30日現在)

取締役



CEO
代表取締役社長
鈴木 伸

1991年 株式会社ジャパンシステムクリエーション(現 当社)入社
2005年 株式会社アイビート(現 当社)執行役員 第一ソリューション開発本部長
2008年 株式会社SJアルビーン(現 当社)執行役員 第二ソリューション事業部 事業部長
2009年 株式会社SJ(現 当社)執行役員 第二ソリューション事業部 事業部長
聯迪恒星(南京)信息系統有限公司 取締役
2013年 Care Online株式会社(現 株式会社ケア・ダイナミクス)取締役 介護情報システム部長
当社 国内事業統轄本部 サービス事業本部長
2014年 当社 事業統轄本部 第一事業本部 本部長
2016年 当社 第一事業本部 本部長
2018年 当社 代表取締役社長(現任)
株式会社東京テック(現 株式会社クシムソフト)代表取締役社長
株式会社CCCT(現 株式会社クシムインサイト)代表取締役社長
2019年 当社 代表取締役社長 事業推進本部担当 営業部担当 第一ソリューション事業部
担当 第二ソリューション事業部担当 クリプトカレンシー&テクノロジー事業部担当
インフラソリューション事業部担当 BP推進室担当 フィンテック戦略室担当
内部監査室担当 広報担当 事業推進本部長委嘱
SJ Asia Pacific Limited Director(現任)
アイスタディ株式会社(現 株式会社クシム)取締役(現任)
株式会社フィスコ仮想通貨取引所(現 株式会社カイクエクスチェンジ)取締役(現任)
株式会社カイクエクスチェンジ(現 株式会社CAICAテクノロジー)代表取締役社長(現任)
株式会社エイム・ソフト(現 株式会社クシムソフト)取締役(現任)
2020年 株式会社クシムインサイト 代表取締役副社長(現任)
株式会社CAICAデジタルパートナーズ 代表取締役社長(現任)
2021年 eワラント証券株式会社(現 カイカ証券株式会社)取締役(現任)
株式会社ネクス 取締役
株式会社Zaif Holdings(現 株式会社カイクエクスチェンジホールディングス)取締役
株式会社カイクエクスチェンジホールディングス 取締役
株式会社カイクエクスチェンジホールディングス 代表取締役社長(現任)
株式会社カイクエクスチェンジ 代表取締役副社長(現任)
株式会社カイクエクスチェンジホールディングス 代表取締役社長(現任)



CFO
代表取締役副社長
山口 健治

2003年 株式会社シークエッジ(現 株式会社シークエッジ・ジャパン・ホールディングス)入社
同社 取締役
2010年 株式会社シークエッジ・パートナーズ(現 株式会社ヴァンテージパートナーズ)取締役
2011年 SEQUEDGE INVESTMENT INTERNATIONAL LIMITED Director
2014年 株式会社シークエッジ・インベストメント
(現 株式会社シークエッジ・ジャパン・ホールディングス)代表取締役
2015年 当社 代表取締役 管理統轄本部担当 ガバナンス推進室担当 管理統轄本部長委嘱
SJ Asia Pacific Limited Director(現任)
2016年 当社 代表取締役専務 ガバナンス推進室担当 財務経理本部担当 財務経理本部長委嘱
2017年 株式会社東京テック(現 株式会社クシムソフト)取締役
当社 代表取締役専務 財務経理本部担当 財務経理本部長委嘱
株式会社ネクス・ソリューションズ 取締役
株式会社ネクス 取締役(現任)
株式会社CCCT(現 株式会社クシムインサイト) 取締役(現任)
2018年 当社 代表取締役専務 財務経理本部担当 総務人事本部担当 財務経理本部長委嘱
総務人事本部長委嘱
eワラント証券株式会社(現 カイカ証券株式会社)取締役(現任)
EWARRANT INTERNATIONAL LTD. Director(現任)
EWARRANT FUND LTD. Director(現任)
2019年 当社 代表取締役副社長 財務経理本部担当 総務人事本部担当 財務経理本部長
委嘱 総務人事本部長委嘱(現任)
アイスタディ株式会社(現 株式会社クシム)取締役(監査等委員)(現任)
株式会社フィスコ仮想通貨取引所(現 株式会社カイクエクスチェンジ)取締役(現任)
株式会社カイクエクスチェンジ(現 株式会社CAICAテクノロジー)取締役(現任)
2020年 株式会社CAICAデジタルパートナーズ 取締役(現任)
2021年 株式会社Zaif Holdings(現 株式会社カイクエクスチェンジホールディングス)
取締役(現任)
株式会社カイクエクスチェンジホールディングス 取締役(現任)
株式会社カイクエクスチェンジホールディングス 代表取締役社長(現任)



取締役
佐藤 元紀

2012年 株式会社ダイヤモンドエージェンシー
(現 株式会社フィスコ)取締役
2014年 株式会社フィスコ取締役(現任)
Care Online株式会社(現 株式会社
ケア・ダイナミクス)取締役(現任)
株式会社ジェネラルソリューションズ
(現 株式会社フィスコ)
代表取締役社長
株式会社シヤンテイ 取締役(現任)
2018年 当社 取締役(現任)
2019年 アイスタディ株式会社(現 株式会社
クシム)取締役(現任)
株式会社ヴァルカン・クリプト・カレン
シー・フィナンシャル・プロダクツ
(現 株式会社フィスコ・コンサルティング)
代表取締役(現任)
2020年 株式会社FISCO Decentralized
Application Platform
取締役(現任)



取締役
中川 博貴

2014年 株式会社ジェネラルソリューションズ
(現 株式会社フィスコ)取締役
2016年 株式会社フィスコ・コイン
(現 株式会社カイクエクスチェンジ)
取締役
株式会社フィスコ経済研究所 取締役
(現任)
2017年 株式会社フィスコデジタルセット
グループ(現 株式会社カイクエクス
チェンジホールディングス)取締役
(現任)
アイスタディ株式会社(現 株式会社
クシム)取締役
2018年 株式会社レジストアート 取締役
2019年 アイスタディ株式会社(現 株式会社
クシム)代表取締役社長(現任)
株式会社エイム・ソフト(現 株式会社
クシムソフト)代表取締役社長(現任)
株式会社東京テック(現 株式会社
クシムソフト)代表取締役社長(現任)
2020年 株式会社フィスコ 取締役(現任)
株式会社CCCT(現 株式会社クシム
インサイト)代表取締役社長(現任)
株式会社ケア・ダイナミクス
代表取締役(現任)
当社 取締役(現任)
2021年 株式会社イーフロンティア 取締役
(現任)



取締役
伊藤 大介

2002年 日本アジア投資株式会社 入社
2006年 フットセラピー株式会社 入社
2009年 株式会社チチカカ 入社
2016年 株式会社資業之日本社 事業開発
本部長
2017年 アイスタディ株式会社(現 株式会社
クシム)取締役(現任)
2019年 株式会社東京テック(現 株式会社
クシムソフト)取締役(現任)
2020年 株式会社CCCT(現 株式会社クシム
インサイト)取締役(現任)
当社 取締役(現任)
2021年 株式会社イーフロンティア 取締役
(現任)



取締役
渕木 幹男

1995年 バンカーストラストアジア証券会社
マネージングディレクター
1998年 ラボアジアセキュリティーズB.V.
東京支店 マネージングディレクター
2007年 株式会社アルメディア 代表取締役
2013年 合同会社PMAD 代表社員
2014年 株式会社MCBI 取締役
2017年 株式会社フィスコ 入社
2018年 eワラント証券株式会社(現 カイカ
証券株式会社)取締役
EWARRANT INTERNATIONAL LTD.
Director
EWARRANT FUND LTD. Director
2019年 eワラント証券株式会社(現 カイカ
証券株式会社)代表取締役
EWM(HONG KONG) LIMITED
Director
2021年 株式会社カイクエクスチェンジ
ホールディングス 代表取締役
株式会社カイクエクスチェンジ
ホールディングス 取締役会長(現任)
2022年 当社 取締役(現任)

社外取締役



社外取締役
川崎 光雄

1996年 株式会社アットホーム 入社
2003年 株式会社船井総合研究所 入社
2011年 株式会社カタナシア設立
同社 代表取締役(現任)
株式会社メディア・コンテンツ 代表取締役
2012年 一般財団法人アジア医療支援機構
監事(現任)
医療法人マザーキー 理事
2013年 社会福祉法人善光会 理事
2015年 当社 取締役(現任)
2017年 医療法人柏陽会 理事
2020年 医療法人美ら海ハシ産婦人科 理事(現任)



社外取締役
島村 和也

1995年 監査法人トーマツ
(現 有限責任監査法人トーマツ) 入所
1998年 公認会計士登録
2004年 弁護士登録
阿部・井窪・片山法律事務所 入所
2008年 島村法律会計事務所 開設 代表(現任)
株式会社ソディックプラステック
社外監査役
株式会社スリー・ディー・マトリックス
社外監査役
2012年 同社 社外取締役(現任)
2014年 コスモ・バイオ株式会社
社外取締役(現任)
2015年 アイビシステム株式会社
社外監査役(現任)
2016年 株式会社アズーム 社外監査役(現任)
2017年 当社 取締役(現任)
2019年 株式会社明豊エンタープライズ
社外取締役(監査等委員)(現任)



社外取締役
池田 祐作

2004年 株式会社セブン-イレブン・ジャパン 入社
2007年 高橋公認会計士事務所 入所
2010年 税理士登録
2012年 いけだ税理士事務所 開設 代表(現任)
2016年 合同会社Romika 代表社員
合同会社IKEDA 代表社員(現任)
2021年 当社 取締役(現任)

監査役



常勤監査役
古賀 勝

2006年 株式会社シークエッジ(現 株式会社シークエッジ・
ジャパン・ホールディングス) 入社
2009年 株式会社シークエッジファイナンス 入社
2011年 株式会社フィスコ・キャピタル 入社
2012年 同社 取締役
2015年 当社 監査役(現任)
2017年 株式会社東京テック(現 株式会社クシムソフト)
監査役(現任)
株式会社ネクス・ソリューションズ 監査役
株式会社CCCT(現 株式会社クシムインサイト)
監査役
2018年 eワラント証券株式会社(現 カイカ証券株式
会社) 監査役(現任)
株式会社シーズメン 社外監査役(現任)
株式会社フィスコ仮想通貨取引所(現 株式
会社カイカエクステンジ) 監査役(現任)
2019年 株式会社カイカ分譲準備会社(現 株式会社
CAICAテクノロジー) 監査役(現任)
2020年 株式会社CAICAデジタルパートナーズ
監査役(現任)
2021年 株式会社Zaif Holdings(現 株式会社カイカエ
クスチェンジホールディングス) 監査役(現任)
株式会社カイカフィナンシャルホールディングス
監査役(現任)
株式会社カイカファイナンス 監査役(現任)
株式会社クシムインサイト 取締役(現任)



社外監査役
杉本 眞一

1990年 株式会社
ボストンコンサルティンググループ 入社
1996年 富士化学工業株式会社 入社
2000年 アーサー・D・リトル(ジャパン)株式会社 入社
モニター・カンパニー・インク 入社
2003年 プロフェット・インターナショナル・インク 入社
2007年 ボナファイデコンサルティング株式会社 設立
代表取締役(現任)
2015年 当社 監査役(現任)
2021年 医療法人社団直芳甲会 監事(現任)



社外監査役
細木 正彦

1978年 川崎重工業株式会社 入社
1985年 監査法人朝日新和会計社
(現 有限責任あざ監査法人) 入所
1986年 青山監査法人
(Price Waterhouse日本法人) 入所
1989年 公認会計士登録
1992年 細木公認会計士事務所 開設
1994年 ウィルコンサルティング株式会社 設立
代表取締役(現任)
2007年 株式会社極楽湯 監査役
2008年 あずか信用組合 監事(現任)
2013年 株式会社タカヤ 監査役
2016年 当社 監査役(現任)

コーポレート・ガバナンス

当社は、長期安定的に企業価値を向上させていくことを経営目標としておりますが、そのためには株主・投資家の皆様、お客様、ビジネスパートナー、従業員、その他多くのステークホルダーの皆様の期待にお応えし、信頼をいただくことが、当社グループが持続的に成長を遂げていくための基盤であると考えております。

この考えに基づき、当社はコーポレート・ガバナンスの充実を重要な経営課題として位置付け、法令遵守・企業倫理の徹底、迅速で的確な意思決定、効率的な業務執行、監査・監督機能の強化を図るための体制づくり・施策を推進しております。

企業統治の体制の概要および当該体制を採用する理由

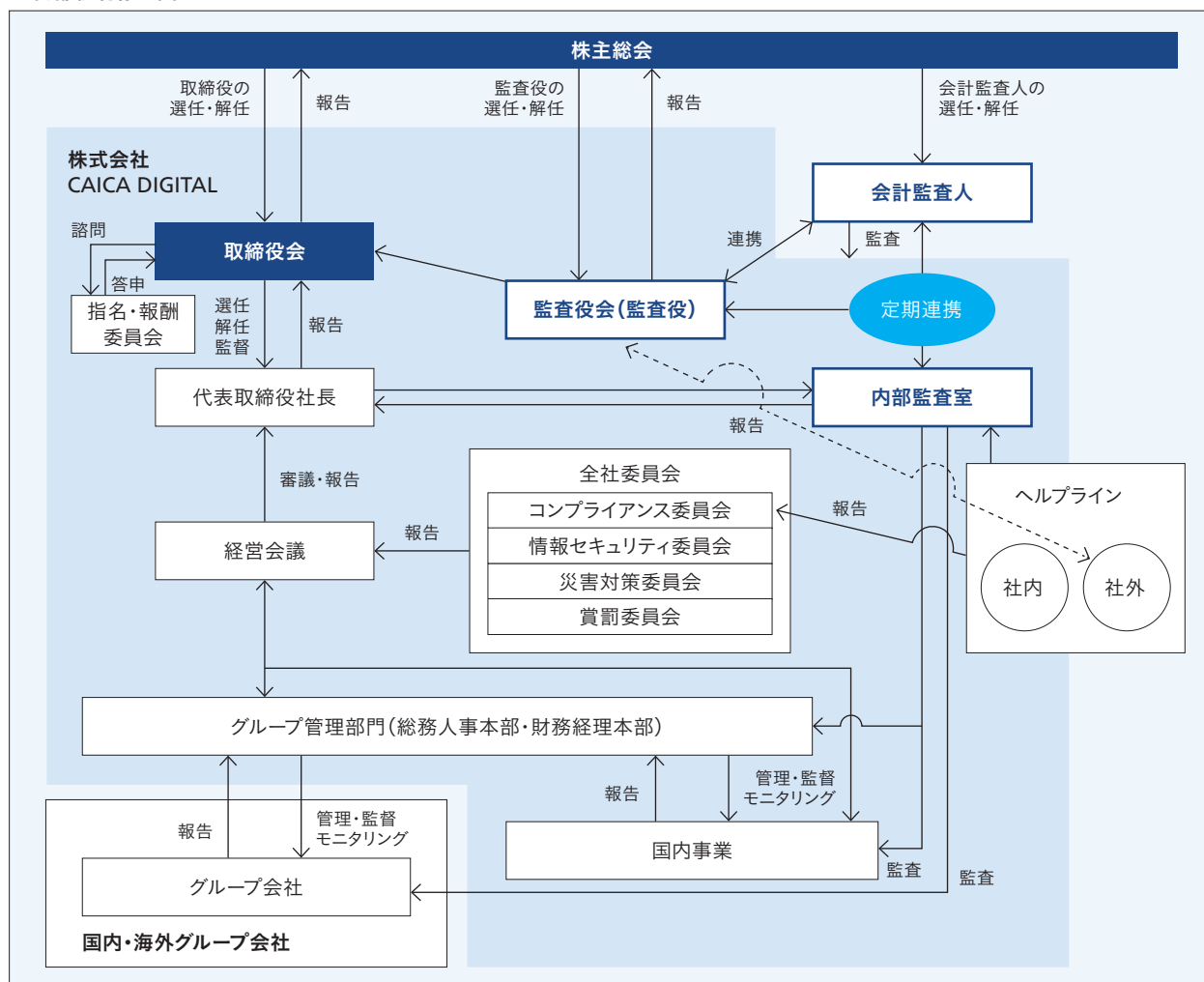
当社は、企業の健全で持続的な成長を確保し、社会的信頼に応える良質な企業統治体制を確立するために、「監査役会設置」型を採用しております。

社外取締役は、企業の経営者としての豊富な経験と幅広い見識を活か

し、経営の機能性を高めると共に、経営に外部視点を取り入れ業務執行に対する一層の監督機能を図る役割を担っております。

2021年10月31日現在における当社の体制は、以下のとおりであります。

■ 内部統制様式図



2021

〔2020年11月1日—2021年10月31日〕

FINANCIAL & CORPORATE DATA

連結貸借対照表

株式会社CAICA DIGITAL

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当連結会計年度 (2021年10月31日)
<資産の部>		
流動資産		
現金及び預金	4,960,433	4,248,977
預託金	62,000	14,284,200
受取手形及び売掛金	685,546	669,952
商品及び製品	3,242	5,914
仕掛品	77,402	48,118
自己保有暗号資産	0	499,089
利用者暗号資産	—	79,689,336
短期貸付金	—	600
未収入金	155,219	142,565
預け金	113,917	894,885
その他	81,790	274,750
流動資産合計	6,139,553	100,758,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,739	29,788
減価償却累計額	△691	△3,399
建物及び構築物(純額)	21,048	26,389
工具、器具及び備品	147,678	247,876
減価償却累計額	△99,265	△115,857
工具、器具及び備品(純額)	48,412	132,018
土地	500	500
有形固定資産合計	69,961	158,908
無形固定資産		
ソフトウェア	126,365	133,355
のれん	24,553	5,457,052
その他	21,174	16,198
無形固定資産合計	172,094	5,606,606
投資その他の資産		
投資有価証券	4,845,179	559,936
出資金	9,493	59,374
長期貸付金	204,529	194,551
その他	83,480	96,134
貸倒引当金	△227,076	△215,776
投資その他の資産合計	4,915,606	694,221
固定資産合計	5,157,661	6,459,736
資産合計	11,297,215	107,218,127

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当連結会計年度 (2021年10月31日)
<負債の部>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	195,967	206,709
1年内返済予定の長期借入金	180,000	180,000
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
未払金	136,935	203,230
預り金	45,359	13,779,776
預り暗号資産	—	79,689,336
借入暗号資産	—	105,586
未払法人税等	39,827	37,291
未払消費税等	162,724	146,127
賞与引当金	154,029	154,064
その他	73,215	587,579
流動負債合計	1,128,059	95,229,702
固定負債		
社債	350,000	210,000
長期借入金	540,000	360,000
繰延税金負債	480	—
その他	39,449	21,792
固定負債合計	929,930	591,792
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	8	8
特別法上の準備金合計	8	8
負債合計	2,057,997	95,821,503
<純資産の部>		
株主資本		
資本金	3,193,697	997,732
資本剰余金	9,856,787	14,203,926
利益剰余金	△3,805,449	△4,112,998
自己株式	△88,946	△99,444
株主資本合計	9,156,089	10,989,215
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,309	△22,888
繰延ヘッジ損益	△1,774	—
為替換算調整勘定	100,191	100,738
その他の包括利益累計額合計	81,107	77,850
新株予約権	2,020	7,291
非支配株主持分	—	322,266
純資産合計	9,239,217	11,396,624
負債純資産合計	11,297,215	107,218,127

連結損益計算書

株式会社CAICA DIGITAL

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月 1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月 1日 至 2021年10月31日)
売上高	6,003,323	5,946,824
売上原価	5,145,850	4,260,267
売上総利益	857,472	1,686,556
販売費及び一般管理費	1,537,375	2,602,205
営業損失(△)	△679,903	△915,649
営業外収益		
受取利息	12,640	13,843
受取配当金	568	1,739
助成金収入	—	27,575
その他	17,474	12,615
営業外収益合計	30,682	55,773
営業外費用		
支払利息	17,880	7,975
支払手数料	20,480	6,706
投資有価証券売却損	24,233	—
持分法による投資損失	143,664	25,507
株式交付費	25,489	12,104
社債発行費等	17,189	4,581
その他	5,723	12,560
営業外費用合計	254,660	69,434
経常損失(△)	△903,881	△929,310
特別利益		
関係会社株式売却益	488,570	15,311
段階取得に係る差益	—	1,379,593
貸倒引当金戻入額	9,900	11,300
特別利益合計	498,470	1,406,204
特別損失		
減損損失	108,413	1,226,631
固定資産売却損	2,415	—
固定資産除却損	5,590	37,266
投資有価証券評価損	—	151,437
特別損失合計	116,419	1,415,335
税金等調整前当期純損失(△)	△521,830	△938,442
法人税、住民税及び事業税	41,485	23,285
法人税等調整額	△13,022	—
法人税等合計	28,463	23,285
当期純損失(△)	△550,293	△961,727
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	7,526	△161,829
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△557,819	△799,897

連結包括利益計算書

株式会社CAICA DIGITAL

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月 1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月 1日 至 2021年10月31日)
当期純損失(△)	△550,293	△961,727
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52,921	△5,578
為替換算調整勘定	△92	547
持分法適用会社に対する持分相当額	△786	1,774
その他の包括利益合計	△53,801	△3,256
包括利益	△604,095	△964,983
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△582,375	△803,153
非支配株主に係る包括利益	△21,719	△161,829

連結株主資本等変動計算書

株式会社CAICA DIGITAL

前連結会計年度(自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)

(単位:千円)

	株主資本				株主資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
当期首残高	1,000,000	7,663,090	△3,247,629	△88,945	5,326,515
当期変動額					
新株の発行	2,193,697	2,193,697			4,387,395
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△557,819		△557,819
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	2,193,697	2,193,697	△557,819	△1	3,829,573
当期末残高	3,193,697	9,856,787	△3,805,449	△88,946	9,156,089

(単位:千円)

	その他の包括利益累計額						純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	新株予約権	非支配 株主持分	
当期首残高	6,366	△987	100,284	105,663	2,852	609,152	6,044,184
当期変動額							
新株の発行							4,387,395
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)							△557,819
自己株式の取得							△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△23,676	△786	△92	△24,556	△831	△609,152	△634,540
当期変動額合計	△23,676	△786	△92	△24,556	△831	△609,152	3,195,033
当期末残高	△17,309	△1,774	100,191	81,107	2,020	—	9,239,217

当連結会計年度(自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,193,697	9,856,787	△3,805,449	△88,946	9,156,089
当期変動額					
新株の発行	947,732	947,732			1,895,465
減資	△3,143,697	3,143,697			—
欠損填補		△492,347	492,347		—
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△799,897		△799,897
自己株式の取得				△12,395	△12,395
自己株式の処分		△1,716		1,897	180
連結子会社株式の 追加取得による持分の増減		749,772			749,772
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	△2,195,965	4,347,138	△307,549	△10,497	1,833,126
当期末残高	997,732	14,203,926	△4,112,998	△99,444	10,989,215

(単位:千円)

	その他の包括利益累計額						
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
当期首残高	△17,309	△1,774	100,191	81,107	2,020	—	9,239,217
当期変動額							
新株の発行							1,895,465
減資							—
欠損填補							—
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)							△799,897
自己株式の取得							△12,395
自己株式の処分							180
連結子会社株式の 追加取得による持分の増減							749,772
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△5,578	1,774	547	△3,256	5,270	322,266	324,280
当期変動額合計	△5,578	1,774	547	△3,256	5,270	322,266	2,157,406
当期末残高	△22,888	—	100,738	77,850	7,291	322,266	11,396,624

連結キャッシュ・フロー計算書

株式会社CAICA DIGITAL

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月 1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月 1日 至 2021年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△521,830	△938,442
減価償却費	104,215	73,205
のれん償却額	91,653	176,586
株式交付費	25,489	12,104
社債発行費等	17,189	4,581
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,900	△11,300
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,159	35
受取利息及び受取配当金	△13,208	△15,583
支払利息	17,880	7,975
持分法による投資損益(△は益)	143,664	25,507
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△1,379,593
投資有価証券売却損益(△は益)	24,233	—
関係会社株式売却損益(△は益)	△488,570	△15,311
投資有価証券評価損益(△は益)	—	151,437
株式報酬費用	6,286	1,710
固定資産除却損	5,590	37,266
減損損失	108,413	1,226,631
売上債権の増減額(△は増加)	△14,367	15,719
たな卸資産の増減額(△は増加)	△64,888	26,612
自己保有暗号資産の増減額(△は増加)	—	△319,010
利用者暗号資産の増減額(△は増加)	—	18,959,262
預け金の増減額(△は増加)	198,687	△755,849
預託金の増減額(△は増加)	11,000	3,436,000
仕入債務の増減額(△は減少)	10,192	10,741
未払消費税等の増減額(△は減少)	144,353	△33,468
預り金の増減額(△は減少)	25,809	△4,160,823
預り暗号資産の増減額(△は減少)	—	△18,959,262
借入暗号資産の増減額(△は減少)	—	105,586
その他	△377,710	228,135
小計	△556,974	△2,089,544
利息及び配当金の受取額	2,260	27,833
利息の支払額	△19,561	△8,715
法人税等の支払額	△25,413	△20,080
法人税等の還付額	8,479	21,305
営業活動によるキャッシュ・フロー	△591,209	△2,069,201

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月 1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月 1日 至 2021年10月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△35,178	△87,807
無形固定資産の取得による支出	△69,618	△75,754
投資有価証券の取得による支出	△1,442,497	△552,229
投資有価証券の売却による収入	58,771	—
敷金及び保証金の差入による支出	△52,171	△13,756
関係会社株式の売却による収入	—	589,199
敷金及び保証金の回収による収入	87,395	1,228
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△16,369
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	1,794,006	—
出資金の払込による支出	—	△45,000
貸付金の回収による収入	125,380	11,525
事業譲受による支出	△27,281	—
その他	7,743	1,479
投資活動によるキャッシュ・フロー	446,550	△187,484
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,684,928	△180,000
社債の償還による支出	△140,000	△140,000
株式の発行による収入	4,344,715	1,844,540
新株予約権の発行による収入	—	37,800
自己株式の売却による収入	—	202
自己株式の取得による支出	—	△12,324
その他	△9,574	△5,258
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,540,213	1,544,959
現金及び現金同等物に係る換算差額	602	271
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,396,156	△711,455
現金及び現金同等物の期首残高	2,564,276	4,960,433
現金及び現金同等物の期末残高	4,960,433	4,248,977

会社概要 (2021年10月末現在)

社名(商号)	株式会社CAICA DIGITAL (英文社名) CAICA DIGITAL Inc. 2021年11月1日付で「株式会社CAICA」から商号変更
設立年月日	1989年7月14日(商号変更 2021年11月1日)
本社所在地	〒107-0062 東京都港区南青山五丁目11番9号 (レキシントン青山3階)
代表電話番号	03-5657-3000
代表者	代表取締役社長 鈴木 伸(すずき しん)
派遣事業	労働者派遣事業 許可番号:派13-307754
加盟団体	日本暗号資産ビジネス協会(JCBA) ブロックチェーン推進協会(BCCC)
資本金	50百万円(2022年3月1日現在)
従業員数	連結 492名 単体 16名 (2021年10月31日現在)
事業内容	グループ会社の管理運営等
主要取引銀行	三井住友銀行、千葉銀行、 みずほ銀行、りそな銀行
URL	https://www.caica.jp/

株主優待 ～暗号資産カイカコイン(CICC)進呈～

■ 中間期(第2四半期)優待の対象となる株主様

株主優待基準日(2022年4月30日※)の最終の当社株主名簿に記載または記録された10単元株(1,000株)以上保有の株主様となります。

※4月29日(金)が祝日であるため、4月26日(火)が権利付き最終日、翌日の27日(水)が権利落ち日、28日(木)が権利確定日となります。

■ 中間期(第2四半期)優待の進呈方法

CICCを受け取るためには、株主様と同一名義のZaifの口座が必要となります。

※年齢が満18歳以上、80歳未満であること等、Zaifには、取引開始基準が設けられています。

Zaif [▶ https://zaif.jp](https://zaif.jp)

取引開始基準 [▶ https://zaif.jp/terms_commencement_standards](https://zaif.jp/terms_commencement_standards)

■ 中間期(第2四半期)優待の優待品

10単元株(1,000株)以上保有の株主様に一律500円相当のCICCを進呈いたします。

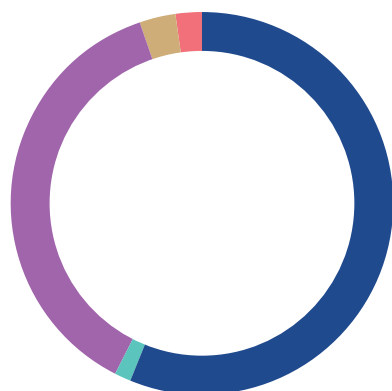
■ 中間期(第2四半期)優待の配布予定日

2022年4月30日時点の株主名簿上の10単元株(1,000株)以上保有の株主様宛てに、受取方法の詳細とともに郵送にてご案内いたします。

株式情報 (2021年10月末現在)

株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	2315
発行済株式数	114,269,094株(2022年1月28日現在)
単元株(売買単位)	100株
自己名義株式	74,200株
株主数	61,609名

株式の所有者別分布



■ 個人・その他	56.154%
■ 金融機関	1.496%
■ その他国内法人	37.077%
■ 金融商品取引業者	3.113%
■ 外国法人等	2.158%

大株主

株主名	所有株式数 (株)	所有株式数の 割合(%)
株式会社フィスコ	23,023,260	20.26
株式会社シークエッジ・ジャパン・ホールディングス	7,034,885	6.19
株式会社フィスコ・コンサルティング	5,627,908	4.95
株式会社クシム	2,123,256	1.87
Shinwa Wise Holdings株式会社	895,349	0.79
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	869,265	0.76
株式会社SBI証券	857,900	0.75
日本証券金融株式会社	810,500	0.71
SMBC日興証券株式会社	810,300	0.71
THE BANK OF NEWYORK, TREATY JASDEC ACCOUNT (常任代理人株式会社三菱UFJ銀行)	574,677	0.51

